

2015年3月期第1四半期連結決算報告 (2014年4月1日～2014年6月30日)

- 通期業績見通しに沿った第1四半期の業績
- これまでのリストラ施策による効果が引き続き発現
- 市場状況は安定的
- 欧州を中心に設備稼働率改善
- 通期業績見通しは変更なし

通期業績見通しに沿った第1四半期の業績

- グループ売上は、1,557億円で前年比3%増収（前年同期1,507億円）、為替変動を除くと前年比1%増
- 無形資産償却と個別開示項目前営業利益は、リストラ効果を反映し51億円（前年同期41億円）
- 建築用ガラス事業は、売上601億円（前年同期576億円）、営業利益19億円（前年同期3億円）
- 自動車用ガラス事業は、売上806億円（前年同期777億円）、営業利益30億円（前年同期29億円）
- 高機能ガラス事業は、売上147億円（前年同期152億円）、営業利益16億円（前年同期20億円）
- 持分法適用会社の業績は前年比をわずかに下回る

これまでのリストラ施策による効果が引き続き発現

- 欧州を中心に、リストラ施策により稼働率水準改善
- 生産性改善は引き続き主要項目
- 中期経営計画の目標であるグループの収益性改善に注力

市場状況は安定的

- 欧州建築用ガラス市場は安定的
- 欧州域内の乗用車販売台数は前年比約5%増。当社の補修（AGR）用ガラスは暖冬の影響により数量減
- 日本では、建築市場が消費税増税の影響を受け数量減。自動車市場は、堅調な需要
- 北米では、国内需要増およびソーラー用ガラス増により建築用ガラス市場は堅調。自動車市場も引き続き堅調
- その他地域では、建築用ガラス市場において東南アジアで需要レベルが増加。南米では自動車用ガラス市場低調
- 高機能ガラス市場は、サブセグメントごとに好調と低調が混在
- ベトナムで新設した超薄板（UFF®）ガラス専用ラインが6月10日より立ち上げ開始

通期業績見通しは変更なし

- 2015年3月期は市場状況の漸進的な回復を想定

連結損益計算書



(億円)	15年3月期 4月-6月期	14年3月期 4月-6月期	前年比
売上高	1,557	1,507	3%**
無形資産償却と個別開示項目前営業利益	51	41	
償却費*	(21)	(21)	
個別開示項目前営業利益	30	20	
個別開示項目	(16)	(24)	
営業利益(損失)	14	(4)	
金融費用(純額)	(47)	(50)	
持分法による投資損益	(2)	0	
税引前損失	(35)	(54)	
当期損失	(47)	(69)	
親会社の所有者に帰属する当期損失	(50)	(71)	
EBITDA	133	121	10%

*ビルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

**為替変動を除くと+1%

収益性が更に改善

2014年7月31日 | 2015年3月期第1四半期決算報告